

2024 OSPO とオープンソースマネジメントの現状

94%の組織が
プロダクトや
サービスで
オープンソース
ソフトウェアを
使っている



大規模組織の
77%に
OSPOがある



小規模組織の **19%**
中規模組織の **33%**
に OSPOが存在



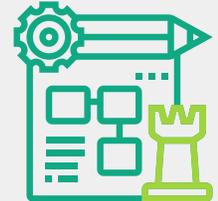
今後1~2年でOSPOの伸びは、
超大規模組織がわずかに12%
だったのに対し
小規模組織においては
105%の成長が
期待されている

80%の組織は、OSPOが
オープンソースコミュニティと
協働する能力に
意味があるポジティブ
インパクトを与える
とレポートしている



中小規模組織における
OSPOの責任

第1位
オープンソース戦略
の策定と実行



大規模組織における
OSPOの責任
第1位
OSSポリシーと
プロセス
の確立と改善

組織から報告されたOSPO
をもつメリットのトップは
コンプライアンス改善
とコラボレーションの
透明性向上



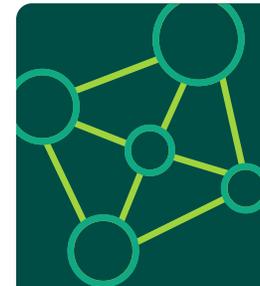
OSPOを持たない組織が
設置することで
期待されるメリット

第1位
OSSの使用と
依存性についての
認知向上



OSPOを持つ組織から報告
されたOSPOの **チャレンジ**
第1位
プログラムや
イニシアチブの
組織内の認知

OSPOの
91%が
セキュリティに
まつわる課題を
マネージしている



OSPOの
84%が
生成AI (GenAI)
のインフラを開発、
マネージしている